

☑ スタッフ広場

by. S・H

いつもコピーセンター通信をご覧いただきありがとうございます。
 新年度を迎え新生活をはじめられたみなさま、おめでとうございます。
 慌ただしさも落ち着き少しずつ慣れてきたでしょう。
 私事ですが、小学生二人の親私の毎年の時期新年度の悩み事のお話です。
 進級に向けて、学校ジャージの名札の縫い付けを春休み中に終わらせる作業が私はとても苦手です。名札を購入し名前を書き縫い付けるだけです。
 まず名札に名前を書く事が、緊張するしせっかく書いたのに、にじんでがっかりするのです。今年は、名前ペンを変えてみようとして新しくしてみたり。そして何より縫い付けが苦手です。保育園登園中からもう何年もやっていますが、年に一度なので全然なれないままです。
 新年度が始まり、週末小学校から持ち帰ったジャージを洗濯し干した時、ようやく進級の喜びを感じる事ができました。
 「今月のオススメの一品」にて、私が新しく変えてみた名前ペンの紹介もあります。
 にじまなくてよかったですよ〜!

5月の営業日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※赤字は定休日です。

☑ LIFESTYLE特集

~大人の趣味時間~

文具について

鉛筆・ペン・消しゴム・ノート等...

いつも何気なく使っている「文具」。

「文具」「文房具」の違いは？

その由来は...?

今回は「文具」について詳しくご紹介していきます!

文房具の語源

中国の文人の書斎(文房)に備えておく道具。
「文房四宝」の筆・墨・紙・硯、4点だけを指す言葉。

文具の語源

書斎で使用する必需品の総称。
文房具より後に中国でできた言葉。
ペンや鉛筆、消しゴム、ノート等文房具以外のものも含める。

現在では「文房具=文具」同じ意味で使われています!

鉛筆の歴史

1564年イギリスで芯の原料：黒鉛が発見され、細かく切ったり、握りの部分をヒモで巻いたりして筆記具として使われるようになったのが始まりです。

現在の六角形のデザイン・長さ・太さ・硬度は、1851年にドイツで生まれました。
日本の鉛筆は、1873年にウィーンで開催された万国博覧会にて派遣された日本人が、製造技術を日本に伝えたのが始まりとされています。

日本で最初に鉛筆を使った人物は、遺品が残っている事から徳川家康といわれています!

☑ 今月オススメの一品

PILOT

油性なまえペン

おなまえ上手

布へみにじまずキレイに書ける。

親子のための新定番名前ペン。

細字

耐久性に優れた柔らかな素材

極細

従来品よりも、布に引っ掛かりにくい形状

引っ掛かると書きにくい...

なめらかに書きやすい!

従来品

おなまえ上手

チップ

耐久性 UP

やわらかさ UP

洗濯にも強い!

筆跡がすぐ乾く!

インキ

にじみにくさ UP

税込価格

¥165- ¥150-(税抜)

※定価から割引いたします。



公式 SNS やってます!

twitter

@iccbbox_iwaki

facebook

@iccbbox_iwaki

Instagram

@iccbbox_iwaki

公式ホームページ

www.iwakicopy.co.jp

オフィスとあなたのベスト・パートナー

いわきコピーセンターは...
とんでもご利用可能な「街の文具屋さん」

一般のお客様

法人のお客様

とんでもお気軽に!

文具

コピー

製本

データ出力

作業スペース